

【地域活動ノート】

SNSを活用した坂戸市の魅力の発信*

——地域の魅力をヒト、モノ、コトの視点から——

大川柊人**・浅野暖斗**

活動の概要

城西大学現代政策学部庭田ゼミナールⅠ（3年生）では、埼玉県坂戸市の関係人口を増やすことを目的に、若者に人気のSNS（Social Networking Service）のInstagramで坂戸の魅力を発信する活動を行っている。

キーワード：地域活性化、坂戸市、情報発信、地域交流、SNS

【プロジェクト活動の動機】

城西大学のある埼玉県坂戸市の直近の人口ピラミッドを見たところ、男女ともに若年層は21歳までは多くなっているものの、その後30歳までの人口は少なくなっていることが分かった。我々は、若者たちは大学生を送っている間は学校のある坂戸市に住んでいるものの、卒業・就職と同時に市外に引っ越してしまうのではないかと推測した。そこで庭田ゼミでは、坂戸市に通学・居住する城西大学生などの若者に市内の魅力を知ってもらい、卒業後も坂戸市に何らかの形でかわり続ける「関係人口」を増やすためにこのプロジェクトを立ち上げた。

坂戸市の玄関口である坂戸駅は、東京の池袋駅から東武鉄道東上線で約40分ほどの位置にあるため、都内へのアクセスが良く便利だと思われる。その一方で、坂戸駅をはじめ市内各駅の周辺には目立った商業・娯楽施設が少なく、大学生からは、遊ぶ場所が乏しいという意見もあり、学生街としての満足度が低いように思われる。

そこで、このプロジェクトでは、Instagramに「Sakadododo」というアカウントを開設し、我々庭田ゼミ生がフィールドワークによって発見した、坂戸市の魅力的なスポットを定期的に発信する。特に、このプロジェクトでは、「ヒト」、「モノ」、「コト」に着目し、それらの地域資源を複合的に捉え、その魅力を発信するように試みている。特に「ヒト」は、メインのターゲットである若年層が坂戸市の暮らしをイメージするきっかけとなるのではないかと考えている。

こうした学生に向かって坂戸市の魅力をSNSで発信する活動を行うことで、今現在市内に通学居住する学生が坂戸市を離れても、また、すでに坂戸を離れている人たちも「関係人口」となってくれるのではないかと期待している。

【プロジェクトの体制】***

庭田ゼミナールでは複数の地域活性化プロジェクトを行っており、本プロジェクトは5名の企画グループ

-
- * 本稿の執筆にあたって、ゼミナールの指導教授である城西大学現代政策学部庭田文近先生からご指導をいただきました。
 - ** 城西大学現代政策学部3年生
 - *** 本プロジェクトを実施している今年度の庭田ゼミナール3年生は、筆者以外に、浅子柚稀、岡継比等、加藤隼斗、小林梨菜、高梨零土、手計絢音、西沢響、齋藤弘希の全10名である。

で、フィールドワークを行い、坂戸市の地域資源の調査、おおよその取材テーマの設定、Instagramへの投稿フォーマットの作成および、プロジェクト全体の進行を行っている。そして、Instagram「Sakadododo」に投稿する記事の取材・作成は3年ゼミの学生全員で行っている。

記事の作成に際して担当の学生が取材を行い、魅力的な写真を撮影・記事を執筆したのち、企画グループによる編集会議で修正・完成させ、Instagramに投稿する、という流れとなる。各記事は、担当の学生が責任をもって取材を行い、それぞれの個性を活かして記事を作成、企画メンバーが投稿を行っている。そして、記事の投稿を行う頻度は月に一回を目安としている。

なお、Sakadododoの記事を多くの人に見てもらうために、2024年11月の高麗祭期間中に開催された地域連携活動発表会に参加し、来場者にプロジェクトの説明を行った。

【おもな記事の紹介】

図1の投稿は、プロジェクトメンバーを紹介する画像を入れ、これから行う我々の活動についての説明をしている記事である。

図2の投稿は、仲町にある喫茶店「café chocoTea」の紹介である。当店の人気メニューである3Dラテアートや妖精をコンセプトとした内装を中心に、おしゃれさが伝わる記事となるように意識した。かわいい魅力を持つお店があることを学生に知ってもらおうと、取材先に選ばれた。

図3の投稿は、石井にある古墳の上に鎮座する「勝呂神社」である。当神社の特徴である「とんぼ」や「裏周り」についての紹介をおすすめとして挙げている。神社というのは地元で長く愛されているものであり、魅力を発信するうえで欠かせないものであると考え、取材先に選んだ。



図1 コンセプト



図2 café chocoTea



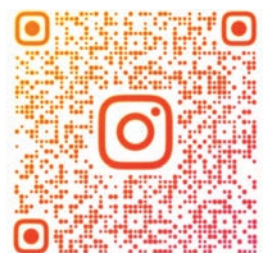
図3 勝呂神社

【今後の活動】

今後、坂戸市をベースに活躍している「ヒト」や祭り・行事などの「コト」の記事も鋭意、取材、投稿していく予定である。

坂戸市は、城西大学の学生にとっては馴染みのある地域だが、調査、取材を改めて行くと、地域の方との交流を通して、今まで知らなかった坂戸の魅力に気づくことができる。また、このプロジェクトは、地域の活性化を促すだけでなく、我々学生の貴重な成長の機会にもなっている。

最後に、我々の取材に協力してくださった皆様に感謝申し上げます。



@SAKADODODO

図4 Sakadododoのリンク